

授業科目 人体の構造と機能Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	看護
山 口 康 昭、山 田 まりえ 西 野 幾 子		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【概要・一般目標：GIO】 人体の基本的構造を全体的に理解する。器官・組織系、骨格系、筋系、循環器系、内臓系、内分泌系、感覚器系、神経系 について、それぞれの形態・構造を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人体を構成する細胞の構成要素と機能を説明できる。 2. 細胞から成り立つ組織の四大分類とその特徴を説明できる。 3. 生活行動を支える運動器系について、形態と構造を説明できる。 4. 生体内の流通経路としての脈管系について、形態と構造を説明できる。 5. 呼吸と栄養摂取の機構について、形態と構造を説明できる。 6. 排泄および性と生殖に関する機構について、形態と構造を説明できる。 7. 液性調節（内分泌系）の機構について、形態と構造を説明できる。 8. 神経系調節の機構と感覚器系について、形態と構造を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは	解剖学用語 看護学との関わり	1	講義
2	組織学 1	組織学総論	人体を構成する細胞と細胞内小器官	1, 2	講義
3	組織学 2	四大組織	上皮組織 支持組織	2	講義
4	組織学 3		筋組織 神経組織	2	講義
5	骨格系 1	骨学総論	骨の構造	3	講義
6	骨格系 2	骨学各論	頭蓋 脊柱	3	講義
7	骨格系 3		胸郭 上肢の骨 下肢の骨	3	講義
8	筋系 1	頭頸部の筋	胸腹部の筋	3	講義
9	筋系 2	上肢の筋 下肢の筋		3	講義
10	脈管系 1	心臓の構造	体循環と肺循環	4	講義
11	脈管系 2	血管の構造	動脈 静脈 毛細血管	4	講義
12	脈管系 3	動脈系 静脈系	リンパ系	4	講義
13	消化器系 1	消化管の構造	口腔 食道 胃 小腸 大腸	5	講義
14	消化器系 2	肝臓 肝胆道系	膵臓	5	講義
15	呼吸器系	気道 気管・気管支	肺	5	講義
16	泌尿生殖器系	泌尿器	生殖器	6	講義
17	内分泌系	内分泌腺各論	ホルモンの働き	7	講義
18	神経系 1	中枢神経系	脳 脊髄	8	講義
19	神経系 2	末梢神経系	脳神経 脊髄神経 自律神経	8	講義
20	感覚器系	感覚器系各論		8	講義
21	人体解剖見学実習	系統解剖の見学		1～8	実習（学外）
22					（講義内容変更の場合もあります。）
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）		入門人体解剖学 改訂第4版	藤田 恒夫	南江堂	1999・5,250円
		参考書	人体解剖ビジュアル -からだの仕組みと病気-	松村 譲児	医学芸術社
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、小テスト、期末試験（筆記試験）、レポート提出の総合評価による。		【履修上の留意点】 短期間に「解剖学」の全範囲を勉強しますので、予習・復習を習慣づけてください。 疑問点はそのままにせず、積極的に質問するなど、主体的に学習してください。 不定期に小テストをおこないます。欠席をしないよう特に注意してください。 なお、学外実習についての注意点は、講義時間中に伝達します。			